

ヤシの木先生のQ&A

— 健診「けんしん」と検診「けんしん」のはなし ① —

登場人物紹介



ヤシの木先生

職業：医師
趣味：愛猫とのふれあい（最近は爪を立てられるのが悩み）



ココちゃん

職業：会社員
趣味：旅行（ビーチリゾートでのんびりするのが好き）



私は会社で毎年健診を受けていますが、なぜですか？

これは、1年に1回、定期的に受けるように、昭和47年の労働安全衛生法に規定されているからです。当時の高度経済成長期に多発していた労働災害への対策として、職場における労働者の安全と健康の確保、および快適な作業環境の形成を目的としています。



受診する項目も決まっていますか？

現在は、1.既往歴・業務歴 2.自覚症状・他覚症状 3.身長・体重・腹囲・視力・聴力 4.胸部X線・喀痰検査 5.血圧 6.貧血 7.肝機能 8.血中脂質 9.血糖 10.尿 11.心電図の11項目が必須とされており、医師の判断によっては3.身長・体重・腹囲・視力・聴力 4.胸部X線・喀痰検査 6.貧血 7.肝機能 8.血中脂質 9.血糖 11.心電図は省いて良いことになっています。
これらを省くと既往歴・業務歴、自覚症状・他覚症状、血圧、尿のみで良いということになってしまいます。



それだけでいいんですか！？

今は厚生労働省になりましたが、要するに工場での結核の蔓延、転倒・墜落事故の予防などを防止することが主眼で、当初は労働者の健康という視点はあまりなかったようですね。昭和 25 年まで死因の 1 位は結核で、この法律ができた頃は死因の 1 位が脳疾患でしたから、咳による結核の蔓延や、脳卒中による転落事故などは大問題だったはずですよ。



最近では 40 歳以上の方が無料で受けられる健診もある、と聞きました。

40 歳～74 歳の方が受診できる特定健診のことですね。費用は住んでいる自治体や加入している健康保険組合によって異なりますが、無料で受けられる方も多いです。



無料なら、受診しやすいですね。
特定健診と会社の健診では、検査項目は違うのですか？

特定健診の検査項目は、既往歴、身長、体重、腹囲、BMI、診察、血圧、脂質、血糖、肝機能、尿ですので、レントゲンがない分、会社の健診よりも不十分な気がしてしまいますね。ただし、これは特定健診が、メタボリックシンドロームの予防・改善を目的とした健診だからなんです。



そっか。目的によって項目が異なるから、自分で選んで、健康は自分で守らなきゃということですね！
そうすると、自費だったり会社で補助が出たりする人間ドック、脳ドックが気になってきますが、どうなのでしょう？

人間ドック、脳ドックは施設によって千差万別で、使用する検査装置も違いますからなんとも言えません。会社がお金を出してくれる指定機関があれば、そこでも良いと思いますが、別の角度からも考えてみましょう。



・・・次回は、日本人の死因で多い病気をもとに、具体的な検査の内容を紹介していきます！